

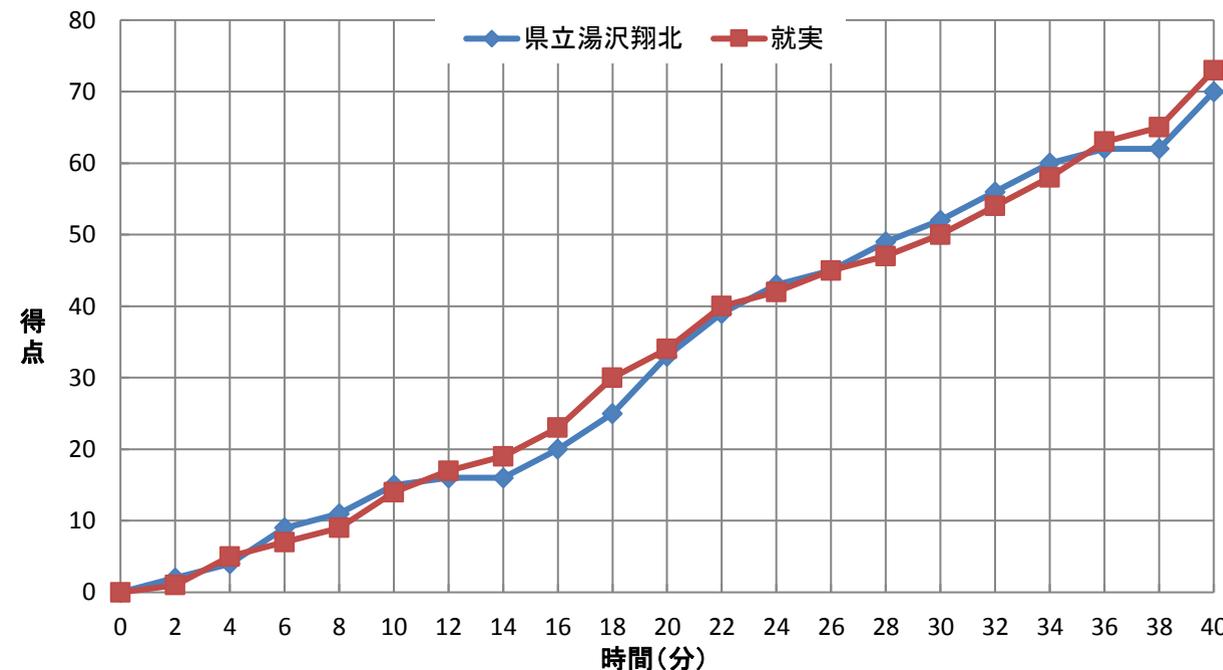


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成28年7月31日		12:50 開始													
1回戦		広島サンプラザ		A													
県立湯沢翔北	70	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>23</td></tr> </table>	15	1st	14	18	2nd	20	19	3rd	16	18	4th	23	73	◎	就実
15	1st	14															
18	2nd	20															
19	3rd	16															
18	4th	23															
(秋田県)			(岡山県)														
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
4	加藤 麻里	10	0	5	0	1	* 4	塩見 あずさ	37	1	16	2	2				
* 5	高橋 果林	22	3	5	3	3	5	田村 幸子	0	0	0	0	2				
* 6	千葉 沙希	10	0	4	2	1	6	米田 遥菜	-	-	-	-	-				
* 7	篠原 陽夏	12	0	5	2	1	* 7	青木 翔菜琳	16	0	7	2	2				
* 8	高橋 悠佳	9	0	4	1	1	8	岡田 七海	-	-	-	-	-				
* 9	村上 瑠奈	7	1	1	2	2	* 9	小坂 幸羽	5	1	1	0	1				
10	鈴木 あみ	-	-	-	-	-	10	青木 南々華	-	-	-	-	-				
11	目黒 歩子	-	-	-	-	-	* 11	那須 愛加	11	2	2	1	4				
12	安藤 千遥	-	-	-	-	-	* 12	森 夕佳	4	0	2	0	2				
13	横山 萌華	-	-	-	-	-	13	岩谷 樹	-	-	-	-	-				
14	佐藤 留菜	-	-	-	-	-	14	吉長 夏生	-	-	-	-	-				
15	高山 美瑠	-	-	-	-	-	15	井上 玲菜	-	-	-	-	-				
コーチ	樋渡 真					0	コーチ	佐原 雅明					0				
Aコーチ	熊谷 傳裕						Aコーチ	斎藤 理恵									
合計		70	4	24	10	9	合計		73	4	28	5	13				
主審: 中澤久馬																	
副審: 金谷純代																	

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	15:21	17:11	31:05	38:05	39:18	:	:	:	:
TeamB	:	:	25:21	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕

スタート湯沢翔北#5、6、7、8、9 就実#4、7、9、11、12
 第1P、湯沢翔北はオールコートマンツーマンプレス、就実ハーフコートマンツーマンでゲーム開始。序盤、就実ハ読みの鋭いディフェンスから相手のミス誘い、#4、#11を起点に得点を重ねていく。一方、湯沢翔北は速いボール運びからの展開でリズムを掴んでいき、#8を中心に確実に点を重ね15対14で湯沢翔北が1点リードで第1Pを終了する。
 第2P、就実のオフェンスは#4の力強いポストプレイに焦点を当て、#4の連続得点により流れを引き寄せる。一方、湯沢翔北は就実の#4のポストプレイになかなか対応できず苦しむが、第1Pと同様に速いボール運びからオフェンスリズムを掴み、#5のドライブイン、#6のシュートにより必死に就実に食らいつく。第1Pと同様、一進一退の攻防が続く33対34で就実の1点リードで前半終了。
 第3P、湯沢翔北は#5、#9の連続3Pが決まり流れを引き寄せたいが、後半に入っても就実の#4の勢いは止まらず思うように引き離すことが出来ない。就実ハ#4のポストプレイ、#11の3Pで得点を重ねるが、ボール運びのミスが目立ち52対50で湯沢翔北の2点リードで第3P終了。
 第4P開始早々、湯沢翔北は就実のミスからの速攻、#5のドライブイン、3Pの連続得点で6点差をつけ試合が動き始めたかと思っただが、就実もすかさず#4のポストプレイ、#9の3Pで食らいつく。残り1分1点差のところ、湯沢翔北のエース#5が怪我でコートを退くと、就実の#4が最後まで集中力を切らさず勝負ところでシュートを決めきり、70対73で就実が接戦をものにし2回戦へ駒を進めた。
 最後まで走りきりどちらが勝つか分からない緊張感のある素晴らしいゲームだった。

戦評: 清水池 美緒

記録: 県立広島高校